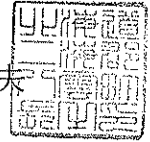


八企企第 13 号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 様

八雲町長 川 代 義 夫



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

平成19年4月2日付、国道企第114号で依頼のありました標記につきまして、別紙のとおり提出いたします。

(企画振興課企画係)

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

道南地域は平野部が少なく海岸段丘の地形が続く海岸線と、険しい山岳地帯を抜ける横断道路から成り立ち、道路整備は他の地域に比べ大変遅れております。このような地域において、次のような視点で真に必要な道路の整備が肝要であると考えます。

①交通安全が図られる整備

道南圏と札幌圏を結ぶ主要道路においては、大型貨物車両や観光バスなど大型車両が大変多く往来しております。大型車両との接触事故は致死率の高い重大事故となることから、安全に走行できる対策が必要であります。中央分離帯の設置や追い越し専用車線の新設、休憩施設の増設などドライバーの視点に立った道路整備が求められます。特に森町～長万部町間は休憩施設の不足が重要視されており、トイレの設置と合わせた整備が緊急の課題であります。

②生活に根ざした道路整備

八雲町は、檜山管内の熊石町と渡島管内の八雲町が支庁を超えた町村合併を行い、国道277号は両地域を結ぶ幹線道路となっております。しかしながら、両地域を隔てる雲石峠は急高配、急カーブの危険箇所が続くことから合併後の地域交流に大きな障害となっております。地域住民が必要とする生活に根ざした道路を優先的に整備する必要があります。

③高速ネットワークを活かす道路整備

北海道新幹線や縦貫自動車道の社会資本が整備されることにより、観光や物流などの産業振興が急速に図られることが見込まれます。各自治体には、このような高速体系を活用したまちづくりが求められており、高速体系に接続する道路の整備が大変重要であり優先的な整備が必要であります。

④景観に配慮した道路整備

自然豊かな北海道の特性を活かすためには、自然と調和した環境整備が必要であります。シーニックバイウェイの取り組みがなされ、美しい景観を提供するための活動が進められており、当町においても道立公園を核に景観整備が行われております。地域の景観に配慮した道路整備が求められます。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

特にありません。